

## 平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書文書番号	ST73002	附属書番号	ABN0002A0
発行者の名称	三協立山株式会社 三協アルミ社		
作成日	2018年3月12日	改訂日	2018年3月12日
商品	スマージュ		
仕様	複層ガラス		
窓種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてすべり出し窓 グレモン（単窓タイプ、FIX-片袖窓タイプ、FIX-両袖窓タイプ、FIX-段窓タイプ）</li> <li>・すべり出し窓 グレモン（単窓タイプ、FIX-片袖窓タイプ、FIX-段窓タイプ）</li> <li>・すべり出し窓 グレモン（大開口タイプ）</li> <li>・高所用すべり出し窓</li> <li>・外開き窓 グレモン・外開き窓 グレモン（単窓タイプ、FIX-片袖窓タイプ、FIX-両袖窓タイプ）</li> <li>・外倒し窓</li> <li>・勝手口ドア（中さん無タイプ）</li> <li>・テラスドア（片開きドア、FIX-片開きドア）</li> </ul>		

■本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

### 〈開口部の熱貫流率〉

- ・試験値はJIS A 4710に基づき試験により測定した代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値はJIS A 2102に基づき社内で算出した代表試験体の熱貫流率です。
- ・建具とガラスの組合せは、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 付録B. B.1～B.4」に基づく熱貫流率です。
- ・付属部材が付与される場合の開口部の熱貫流率は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 5.2.2 付属部材が付与される場合および 5.2.3 風除室に面する場合」に基づく値です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 付録D 外皮の熱損失、窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- ・記載されている内容は、製品の仕様変更等により、予告無く修正する場合がありますのであらかじめご了承ください。

### 〈開口部の日射熱取得率〉

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第四節 日射熱取得率 6 窓等の大部分がガラスで構成されている開口部 および 7 ドア等の大部分がガラスで構成されていない開口部」に基づく値です。

ガラス構成		アルゴンガス入り 一般ガラス					
		透明			型		
		型4	型4	型4	型4	型4	型4
ガラス構成	室外ガラス厚	3	5	4	型4	型4	
	中空層厚	16	14	14	16	14	
	室内ガラス厚	3	3	4	3	4	
熱貫流率区分	Low-E	グリーン	A	A	A	A	A
		ブロンズ	A	A	A	A	A
		クリア	A	A	A	A	A
日射熱取得率	Low-E	グリーン	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		ブロンズ	0.32	0.31	0.31	0.31	0.31
		クリア	0.45	0.43	0.44	0.44	0.44

## 開口部の熱貫流率

樹脂スペーサー仕様								
区分記号	ガラス中央部の熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]	開口部の熱貫流率 [W/m <sup>2</sup> K]				試験値	計算値	建具とガラスの組合せ
		付属部材無し	シャッター・雨戸付	和障子付	風除室あり			
A	1.2 以下	1.35	1.27	1.22	1.19	○		